



小国中だより

小国町立小国中学校
令和2年12月9日
文責 八木幸夫

小国中学校 PTA 評議員会

2 学期活動反省・今後に向けて

12月7日(月)、本校PTA活動の2学期の反省を行い、今後の活動の方向性を話し合うPTA評議員会が行われました。新型コロナウイルス感染対応のために、1学期本格的にPTA活動がスタートしたのは7月に入ってからです。学年部、専門部ともに柔軟に計画を見直していただきながら活動に当たっていただきました。ご協力に感謝申し上げますとともに、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



専門部活動中間報告

- 【研修部】 8月20日(木) PTA研修会(講話)
講師 伊藤 宏 氏(小国町立病院副院長)
演題 「新型コロナウイルス感染防止」
会場 小国中学校体育館
- 【育成部】 8月24日(月)～28日(金) 第3学年あいさつ運動
9月14日(月)～18日(金) 第2学年あいさつ運動
10月12日(月)～16日(金) 第1学年あいさつ運動
- 【環境整備部】 8月22日(土) 保護者グラウンド早朝除草作業
- 【広報部】 11月 PTA広報紙「ネットワーク」90号発行
*ネットワーク90号は校内で刷り増しし12月の町内回覧で広く町民の方に見ていただくことにしました。(白黒版です。)
- 【母親委員会】 10月29日(木) 学校保健委員会への参加
12月14日(月) 「自分で作るお弁当の日」実施
*間もなく実施となります。各家庭でのご協力よろしくお願いいたします。

会計について

新型コロナウイルス感染対応のために、専門部活動が制限され、活動が縮小したことから、各専門部の予算に残金が出る見通しです。そこで、1月の学校集金からPTA会費分の400円を減額することが決議されました。詳しくは別紙でお知らせします。

報告

学校運営の近況と今後の学校運営についての見通しを報告しました。

- ①感染症対策について ②スキー授業のお願いについて
- ③来年度の自転車通学について ④卒業式の持ち方について

報告、お願いした内容についてはあらためてお知らせいたします。

Stop! コロナ差別

敵はウイルス 人じゃない

12月7日（月）の山形新聞の朝刊に次のような広告が掲載されました。

山形県から、お願いです。

新型コロナウイルス感染症は、誰でも感染する可能性があります。

私たちが戦う相手は人ではなく、ウイルスです。
誰かを責めたり、差別しても解決するわけではではありません。

姿が見えないウイルスに対する恐怖心や不安から、
差別や誹謗中傷することは絶対にあってはならないことです。

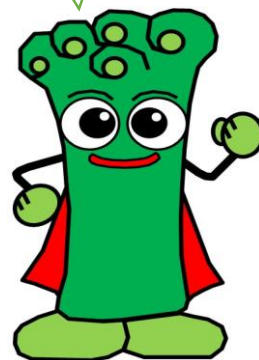
もし、あなたやあなたの家族、友人など身近な人が感染し、
誰かに責められたり、インターネット上で非難され
あらぬ噂を流されたりしたら、どう感じますか？

感染された方やその家族などへの心無い言動
やSNSの書き込みなど、差別や偏見、いじめ
めなどは決して行わないようにしましょう。

そして、医療従事者をはじめとした、県民生活
を支えている教育・介護等の福祉サービス
事業者や運送業者の皆様などへの感謝の気持ちを
忘れないでください。

**こんな状況だからこそ、私たち一人ひとりが相手の立場になって考え
思いやりをもち、力を合わせて乗り越えましょう。**

思いやりを大切に！



新型コロナウイルス感染の第3波が全国を席卷し、感染が急激な広がりを見せ、山形県でも警戒レベル3【警戒】が発令され、危機感が高まっています。市中感染が疑われる感染経路不明なケースが出てきており、小、中学生の感染による休校措置のとられている地区もあります。そんな中、プライバシーを無視した心無い感染者探しや、SNSでの憶測による誤った情報の拡散、興味本位の書き込み等が問題となっています。不安はもちろんありますが、今やらなければならないことは、私たち一人ひとりが基礎的な感染予防を徹底し、「相手の立場に立って考え思いやりを持った」行動をすることです。この度、全学年で渡辺裕子養護教諭による新型コロナウイルスに関する保健学習を行いました。新型コロナウイルスを正しく理解し、予防を徹底する。そして、今、思いやりが求められています。